

SAQR17番外編「メインディッシュに飯能はいかが？」 解答用紙

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム		←成績表に実名を出したくない場合	
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A 距離計測	ドライブクラス	ラリークラス
CP	距離が短い順に番号を記入(1,2,...)	距離を記入(0.01 km単位)
S~1 CP	10	15.08 km
1~2 CP	7(8も可)	6.66 km
2~3 CP		km
3~4 CP	4	6.10 km
4~5 CP	9	9.02 km
5~6 CP	2	2.40 km
6~7 CP	1	1.02 km
7~8 CP	8(7も可)	6.68 km
8~9 CP	3	3.69 km
9~10 CP	5(6も可)	6.53 km
10~F CP	6(5も可)	6.55 km

Q-B	坂戸市役所(の庭園内)
Q-C	5つ
Q-D	厄割り石
Q-E	四国八十八ヶ所霊場 お砂踏所
Q-F	やぎ(の家)
Q-G	5か国語
Q-H	右手前の灯籠が消去されている
Q-I	8回
Q-J	3つ
Q-K	梅園村立植林地之碑
Q-L	大日如来
Q-M	20m後方にずらした
Q-N	30年

参加クラス	
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-X1	ベンチ
Q-X2	下学上達の橋
Q-X3	越辺川の源流
Q-X4	公衆トイレ(おひまつぶし処)
Q-X5	泉井

Q-Y1	2図
Q-Y2	24図

SAQR17番外編「メインディッシュに飯能はいかが？」
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代表者	QA										GB	GC	GD	DE	DF	GG	GH	GI	GJ	GK	GL	GM	GN	OY1	OX2	OX3	OX4	OX5	OY1	OY2	総減点	SAOR賞	解若受領日	DRC参加
			S / 1	1 / 2	2 / 3	3 / 4	4 / 5	5 / 6	6 / 7	7 / 8	8 / 9	9 / 10	10 / F	碑の 移院	屋号	役割	四角の 形	種の家	何か 国話	間違 い探し	三 尺の 横	境内 の風船	石碑 の題字	何の 像	拝殿 の位置	梵鐘 の連年	ASIA	赤い 横	ブレ ート	年中 無休	白い ベンチ	スク ラップ				
1	中古でGO!	長谷部 章	1	0	-	1	0	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5	2019.5.17	○
2	DANGAN CLUB	矢木 雅人	2	0	-	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	2019.6.9	○
3	アンドロメダ	泉 直樹	0	0	-	0	2	0	1	1	0	1	0	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	10	2019.7.17	○
4	チーム やってもーた!	関 康成	0	2	-	1	2	0	0	1	1	0	1	0	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	8	2019.5.5	○
5	TEAMうましか	堀口 泰夫	1	0	-	0	3	0	1	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	10	2019.7.19	○
6	食うらん	岸 憲司	0	0	-	1	1	1	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	18	11	2019.7.20	○	
7	つれづれ	山本 英雄	0	0	-	1	0	1	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	19	13	2019.5.11	○
8	CHIBUU Racing	鈴木 直三	0	0	-	1	5	1	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	22	12	2019.7.20	○
9	(WI)TH	松本 純弘	1	1	-	0	1	0	0	2	1	0	1	0	4	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	16	2019.6.20	○
10	マリモスターズ	マリモスターズ	2	0	-	1	2	2	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	12	2019.7.20	○
11	oyajikumi	nobu	1	1	-	1	3	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	25	15	2019.5.25	○
12	大澤衆	遠藤 秀男	1	0	-	1	10	0	0	1	1	0	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	32	17	2019.7.21	○
12	頭文字J	藤原 啓史	0	0	-	1	1	1	0	7	1	0	4	3	2	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	32	17	2019.7.21	○
14	makuro	makuro	1	0	-	1	10	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	33	19	2019.7.21	○
15	オジョウトジヤ	黒田 正彦	1	0	-	0	4	1	0	3	1	2	0	0	4	0	3	0	3	3	3	0	3	3	0	0	0	3	0	0	3	43	31	2019.5.27	○	
16	チーム智	山崎 輝彦	8	3	-	3	4	10	2	8	7	2	1	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	8	2019.7.21	○
17	NakBL32	NakBL32	1	0	-	1	9	2	0	6	2	2	1	3	4	1	3	0	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	3	0	3	3	58	35	2019.7.20	○
18	チームくまくま	細田 実	10	10	-	9	10	6	1	10	7	10	9	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91	9	2019.6.25	×

◆ドライブクラス

1	ねご金魚	道野 正	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	15	15	2019.7.21	×
---	------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	-----------	---

◆全体

飯能～越生を中心とした今回のコース、後半は林道が主体だった点に好評を多くいただきました。狭い区間もあり少し心配だったのですが、そのことによるクレームはなく無事公開期間を終えることができました。全体で19チームのご参加をいただきましたが、ドライブクラスは1チームのみの参加でした。

またコースの一部が先に公開されたNDR-6と重なっていましたが、逆方向だったこともあり、既視感というか特に意識することなく走行した、という声が多くあり、この点気になっていたのを胸を撫でおろしました。

成績の方は、採点ミスがあり訂正した結果、ラリークラスは長谷部さんが強さを発揮し優勝となりました。矢木さんと同減点でしたが早い提出が奏功しました。11月か12月の日曜日に開催予定のSAQR19(第30回記念大会)への切符(SAQR賞)は、矢木さんが獲得です。

◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

4-5CP間と7-8CP間で、減点を受けたチームが多いです。カーブの多い林道区間があることが共通しています。FR車との補正はやはり難しいようです。その中で唯一、中古でGO!の長谷部さんは減点0と1に抑えており、これは素晴らしい。

ドライブクラスは今回SAQR方式に変えたため難易度が下がり、参加は1チームだけではありますが、減点0となりました。

Q-B(頌徳碑の移設) 正解率=84%

日本をとりまく歴史の一端です。大川平三郎氏は九州から旧樺太まで全国に製紙会社を設立した製紙王だったと、別の解説板にあります。頌徳碑の解説板によると、旧樺太の恵須取神社に建立された碑を、坂戸市役所を経てこの公園に移設されたことが分かります。

殆どの方は正解でしたが、解説板を最後まで読まなかった方がいらっしゃいました。また「坂戸市」という解答がありましたが、この公園も坂戸市ですのでやはり市役所まで書いてほしかったです。

なお大川平三郎の叔父にあたる渋沢栄一が、2024年から発行される新一万円札へ採用される、というニュースが開催直前に飛び込んできたことに縁を感じました。(何の縁やら?)

Q-C(弓削田醤油の屋号) 正解率=37%(平均減点=1.9)

店の外壁の2つはすぐに分かったと思います。「お客様駐車場」看板にも屋号が。しかも表裏の両方にあります！さらにはカーブミラーの支柱にある注意書き看板にも。ということで合計5つとなります。

なかなか見つけ甲斐のあるクイズなので、問題文に苦労しつつも出題に漕ぎ付けました。



Q-D(役割) 正解率=74%

恒例(?)のトンチ問題です。なのに真面目に考えた方もちらほら(札所、神様など)。あるいはトンチの方向性が残念ながら作成者と合わなかった方も。

今回のトンチは、単なるダジャレでした。「役割」と「厄割り」を引っ掛けたもので、境内にある「厄割り石」を見つければすぐにピンときたことでしょう。

Q-E(四国の形) 正解率=84%

出題写真で「四国」を連想するのは難しくないと思います。あとは境内で四国に関するものを探すだけ。

正確に答えることを求めていますので、名称を省略したもの、「お砂詰所」など意味が変わってしまうものは、たとえ正解を見つけていると思われるものでも厳しく採点しました。



Q-F(誰の家?) 正解率=100%

やっと出ました、全員正解。駅のホーム越しでやや見つけにくいですが、見つからずに諦めるほどではないですからね。

ネットで調べると、歴代のやぎには名前がついていて、小屋にも「そらとみどりの家」と書いてあったんですが、現在は「やぎの家」。名前が変わっても書き換えなくていいようにしたのか、やぎに名前をつけなくなったのか。真相は不明です。

Q-G(五常の滝説明看板の言語) 正解率=68%

数年前には何もなかった場所に、五常の滝への入口が設置されていました。見学者のために説明板やら橋やら整備されたようです。



道路沿いの4枚だけを答えた方が意外とおられました。写真のように右手の広場内にもあり、何語かは分かりませんが同じ内容と思われる説明文がありました。



←加工前

加工後→



Q-H(天文岩の間違い探し) 正解率=68%

この天文岩、どうやって出題しようか大いに悩みました。写真加工による間違い探しは、ちょっと禁手かなあと思いつつ、この珍しい岩をじっくり見てもらうことになるので良しとしました。

左の写真でビフォーアフターをいただえれば一目瞭然、右側の祠が消されていたのでした。誤答には、木製の電柱、ガードレール、影などがありました。

Q-I(黒山三滝の橋) 正解率=37%

黒山三滝をそれぞれ間近で見てもらおうと設定したクイズです。天狗橋との分岐点に着くまでの舗装路上で1つ目の橋を渡ります。



←天狗滝では最寄りの地点に行くまで小さな木板の橋を3つ渡ります。往復で6回渡ることになります。

男滝・女滝を最寄りで見るとは、この赤い→欄干の橋を渡り切る必要はなく、問題文に照らし合わせればカウント対象外です。



最後にこの橋を渡って四阿へ。→反対側の階段だと最短にならず。



ということで正解は8回なのですが、皆さんの解答は「2、3、4、6、7、8、9」と実に多岐にわたり(滝だけに多岐?)、結果的に難問となりました。出題文の解釈が難しかったでしょうか?

Q-J(全洞院の風船) 正解率=95%

意外な場所にあるので、なかなか見つからなかったという感想が多かった割には、高い正解率となりました。境内が狭いので、結局みなさん見つけたということでしょう。

この7CP出発点の近くにあるCafe DieSonneの奥様にクイズネタを求めたところ、このあたりは三つ葉つじの名所であることが一押しでした。しかし作成者に才がなくクイズに仕立てられなかったので、代わりに全洞院に助けを求めたの出題でした。



Q-K(石碑の題字) 正解率=16%

この石碑の題字は難問となりました。そもそも解答を諦めた方も少々。まず右上から縦に並んでいる点に気付く必要があります。あとは説明文から紐解いていくしかないのですが、「梅園村」は説明文の序盤で登場するためか、ほぼ全員が読めていました。「殖」「地」の題字は読めるので説明文と組み合わせると「殖林地」が分かり、末尾の「之碑」は読めるし想像もしやすく。これで「梅園村口殖林地之碑」まで読めました。問題は口部分の1字。意味から考えると可能性があるのは梅園村立で「立」、梅園村有で「有」、



「梅園村の」で「之」あたりか。「之」は末尾から2文字目と比べれば明らかに別の字と分かります。「立」と「有」の草書体の一種(下の写真参照)を比較すると、「立」と判断できます。毛書で使われる他の書体でも「立」の方が近いです。

草書「立」 立 草書「有」 有

Q-L(石碑に掘られた像) 正解率=68%

この石碑だけでは正解を得ません。近くにあった解説板に、「大日如来と六地藏が彫られた石仏」とあり、この六地藏がヒントとなって正解に導かれる設定でした。



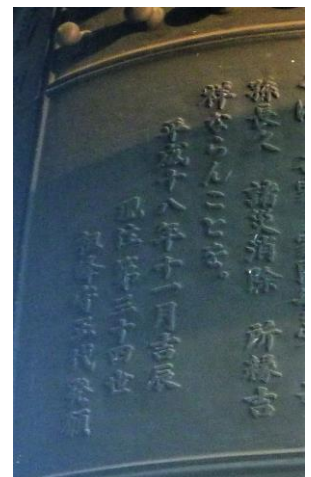
Q-M(拝殿の位置) 正解率=100%

これは簡単でした。拝殿手前の石碑に「拝殿の位置を焼失前より二十米後方に建築」と明記されていました。それにしてもこの碑文は思い入れたっぷりで、焼失の日時や状況の描写が克明であることに感心し、この碑文を読んでもらおうという出題でした。



Q-N(梵鐘鑄造年の差) 正解率=63%

最勝寺の梵鐘は昭和51年(=1976年)、金澤寺の梵鐘は平成18年(=2006年)の鑄造なので、その差30年となります。最勝寺の梵鐘に刻まれている鑄造年は「五」を「三」に見誤りやすいのですが、境内の説明板には昭和五十一年と書かれていました。



SAQR17番外編「メインディッシュに飯能はいかが？」

Q-X1～5 正解率＝95%、95%、89%、89%、95%

- ・Q-X1 ODに分かりやすくあったので皆さん見つけましたね。
- ・Q-X2 Q-G解答の際に見えたと思います。有料エリアに入場しなくても立て札に書いてある「下学上達の橋」を確認できました。下学上達とは、身近で学び始め次第に向上させることだそうです。
- ・Q-X3 NDR-6を走行した方は既に見つけていたかもしれません。6CPの直前左手にありました。
- ・Q-X4 確かに年中無休です。全洞院の公衆トイレの外壁をアップで撮影したものでした。予想と違った、という声も複数。
- ・Q-X5 10CPの金澤寺の目の前にありました。全員が見つけていました。

今回はいずれも高い正解率となりました。今回はY問題があるため、少し難易度を抑えたのでした。



Q-Y1～2 正解率＝74%、84%

- ・Q-Y-1 クイズにしてくれと言わんばかりのオブジェ(スクラップ企業の目印)なのですが、ここはOD区間。目立つので見つければよしの形で出題しました。ストリートビューでは、高速道路と重なっており表示できないことも出題理由でした。
- ・Q-Y-2 スタートの公園、観音寺、全洞院付近、最勝寺、と怪しい地点には登場せず、コース後半の交差点脇にボツンと立っているという少し意地悪な問題でした。でも目立つのでほとんどの方は見つけられました。24図の後では？という指摘がありましたが、ここは複合コマ図なので、24図内の登場となります。